

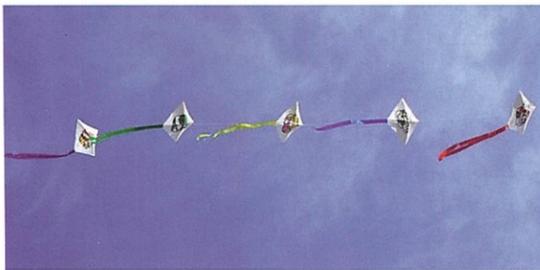
広告

アイあさひ

第 117 号

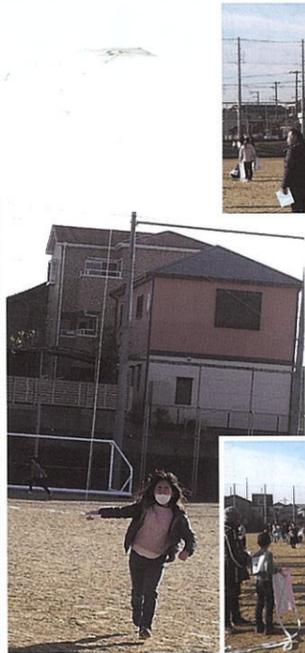
2022年 3月 1日

発行 旭・太田地区市民協議会
 会長 西村 佳治
 編集 市民協議会事務局 広報部会
 事務局 東岸和田市民センター内
 (お問合せ先) TEL.072-428-6711



西村市民協議会長

新春 たこあげ大会



★★★★ 成績表 ★★★★★	
アイデア賞の部	たこ揚げ賞の部
<一般> 第1位 小川 順子 第2位 八野 愛心 第3位 小川 良子 <高学年> 第1位 長谷川愛花 第2位 多炭 大輝 第3位 泉池 真奈 <低学年> 第1位 八野 賢大 第2位 泉池 聡太 第3位 二山信次郎 <幼児> 第1位 真田 珠羽 第2位 村田 愛奈 第3位 渡辺 陽斗	<一般> 第1位 八野 愛心 第2位 長谷川玲奈 第3位 小川 良子 <高学年> 第1位 高橋 咲羽 第2位 長谷川愛花 第3位 多炭 大輝 <低学年> 第1位 八野 賢大 第2位 中瀬 一颯 第3位 土井 茉莉奈 <幼児> 第1位 嶋田 美桜 第2位 中瀬 さあや 第3位 村田 愛奈



地元を守りついで
 市民協 文化部長 小南 正明
 2022年1月9日葛城グラウンドにて、恒例の「たこあげ大会」が開催されました。
 まずは大会開催にあたり、準備、片付けと運営にご協力頂いた各団体の皆様、審査をして下さった各町会長、旭・太田両小学校幼稚園の校長先生とPTA会長へお礼を申し上げます。
 昨年はコロナウイルス感染拡大予防の観点から中止であったが、2年ぶりの開催となりました。今回はアルコール消毒、検温等感染予防を行って行われました。当時感染者の絶対数は少なくなっていたものの、少しずつ増加していたのもあったので、多少の不安もありました。でも参加者の皆さんが笑顔で楽しんでるのを拝見し、現在のこの閉塞した状況の中で、笑えるというのはとても大事なことでと感じ、開催して良かったと思える1日でした。
 個人的な話になりますが、僕は「地元を育てて貰った」とよく言う先輩がいます。祭りに参加してるから、そこで色々よくして貰った事なのかもと漠然と思っていて、ピンと来なかったのですが、今回のたこあげ大会で運営側に回り、そこで初めて分かった事があります。各町会長や校長先生が参加してる子供に向ける眼差しが、表現が適切かどうかはさておき、好々爺然としていてとても温かいものだという事です。子供は地元を守られていると思った瞬間で、そこで初めて先輩の言っていた言葉の意味が分かった気がしました。地元の大人は何を教えるでもないけれど、大事にされていると思いました。
 僕個人としては、冬のたこあげ大会、夏の納涼大会、秋の体育祭と準備が大層なので、もうしなくても良いのではと思ってましたが、地元の子供たちの為には必要だと思えました。
 コロナが拡散していなければ、納涼大会も体育祭もしっかり準備して開催しますので、楽しみに待っていて下さい。

広告

広告

広告
 募集中

町会だより

太田町町会

会長 大岡 忠史

旭太田地区の皆さん日頃市民協議会や町会活動にご理解ご協力頂きまして有難うございます。

太田町町会は現在約200軒で構成され町会組織は町会長はじめ副会長3名・書記1名・会計1名・各担当理事9名の15名と会計監査2名そして11の班に各1名の班長で構成されています。

太田町町会は旧旭団地自治会発足後40年を過ぎ町会員も高齢化に進んでいる中ですが、近年新たに30軒程建った住宅等から新規入会の若い世代の会員も徐々に増えてきています。

しかしこの所、先が見えそうで見えないコロナ禍の中、太田町会もイベントや活動が中止や延期または簡素化したり、定期総会においても令和2年度3年度が2年続けて書面決議を行う等、例年にならぬ活動を余儀なくされています。

そんな中ですが昨年末頃に2年がかりで進めてきた防犯カメラの設置が4台無事に完了しました。令和4年度は平常に戻り、夏の夕涼み会等、町会員総出で参加できるイベントが再開できるよう心より祈っております。



団体だより

畑町婦人会

小次知佐代

【活動報告】

毎月 波多神社清掃
世話人、若頭、少年団、子供の会の指導員の方々に手伝いに入ってもらいました。

市民協議会運営委員会

4月～6月

コロナ禍で中止

8月～9月

コロナ禍で中止

8月 町内清掃(公民館)

町内盆踊り中止

10月 祭礼中止

11月 日帰りバス研修

旅行(滋賀、近江、竹生島)

12月 赤い羽根街頭募金(サンエー)

1月 町内清掃(公民館)

2月 たこあげ大会

3月 婦人会総会(予定)

コロナ禍の中、会員はじめ多くの皆様の協力のお陰で一つ一つの行事を無事に終える事が出来ました。会員の半数が老人クラブに入り、少ない人員で一生懸命活動をしています。新しく入会して下さる方があればと思っております。どうか宜しくお願い致します。



作才町婦人会

花田 仁美

【活動報告】

毎月 町内定例会(二日会)

市民協議会運営委員会

隔月 埋め立てゴミ回収

4月 第一回婦人会定例会・町会館清掃

6月 町内一斉清掃

7月 第二回婦人会定例会・町会館清掃

11月 町内公園清掃

12月 赤い羽根街頭募金

1月 たこあげ大会(受付)

2月 婦人会新年会(予定)

3月 婦人会総会(予定)

今年度も皆様にご支援ご協力いただいたお陰で、無事一年を終える事が出来ました。ありがとうございます。一昨年から続いている新型コロナウイルスによる感染症の影響により、なかなか思うような活動が出来ない一年でした。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。何かと不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますようお願い申し上げます。

また、婦人会では楽しく行事に参加して下さる会員を募集しておりますので、よろしくお願致します。

土生町婦人会

木下由紀子

【活動報告】

毎月 町会定例会

市民協議会運営委員会

婦人会定例会

各月(5・8・11・2)駅前清掃

9月 町内清掃(土生神社)

10月 祭礼 お弁当配り

11月 婦人会 茶話会

1月 たこあげ大会(受付)

3月 婦人会総会(予定)

今年度も皆様のご協力のお陰で、無事一年間を終える事が出来ました。ありがとうございます。コロナ禍で、あまり活動が出来ない中、少しずつ出来る活動のみをしています。婦人会の会員を募集しております。私たちが一緒に、楽しく活動してみませんか。お待ちしております。



太田校区 民生委員・児童委員活動

小南 正秋

皆さんこんにちは。太田校区 民生委員・児童委員の地区副委員長の小南正秋です。

私は、今年で民生委員として3期目の9年目に入りました。地区委員長は、流木町の出口さんです。出口さんは、民生委員17年の大ベテランです。我が太田校区は、9人のメンバーで、活動しています。

毎月の生活保護宅への訪問活動・生後2か月程度の赤ちゃん訪問等、コロナ禍の中ではありますが活動しています。又、年2回の夏期・冬期研修や9月の太田小学校での始業式に、あいさつ運動、

それと11月の赤い羽根共同街頭募金活動など、年間を通じての行事です。日常的に親しく付き合い合うご近所を意味する『向こう三軒両隣』という言葉は、死語になりつつあるのだろうか。2020年度の内閣府の調査で、地域での付き合いが『あまりない』『まったくない』と答えた人は計34%、3人に1人となった。核家族化や単身者の増加でマンションなど集合住宅の居住者が増え、町内会の加入率は下がっているという。地域とかわりを持つ時間も短くなっている。そうだと、どうした現在『地



域』で、60歳代で、4人に1人が、70歳以上の5人に1人が、近所付き合いのつながりから離れている数字は、災害時を考えると心配だ。私たち民生委員・児童委員は、世のため・人のために頑張っています。

青少年指導員活動報告

校区長 赤田 正次

日頃より青少年指導員の活動にご理解ご協力頂きありがとうございます。

青少年指導員の活動報告ですが、1月9日(日)の新春たこあげ大会に参加させて頂きました。

青少年指導員による毎年恒例のもちつきとせんざいの振る舞いは新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、感染症の感染拡大防止のため「マスク着用・消毒・検温の徹底」に重きが置かれましてのことから、「青指で協力できることはさせてい

ただく」ということで、参加者の招集整理、たこあげ開始時の誘導、たこあげ競技中子どもたちがぶつからないよう見守りなどをさせて頂きました。

参加者の皆さんにもち入りのあったかいせんざいを召し上がっていただくことができず残念ではございましたが、好天に恵まれ、葛城グラウンドで楽しくたこあげをする子どもたちと「ソーシャリティスタンス」の中の「ふれあい」をさせて頂いたことができました。

その翌日、1月10日(月・祝)の成人の日には南海浪切ホールで岸和田市成人式が開催され、青少年指導員は場内誘導係として参加させて頂きました。

こちらも新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、成人式は午前・午後の2部制での開催、青少年指導員は人数を制限しての参加となりました。

土生中学校区の新成人は午前・土生中学校区という

ことと旭・太田校区青少年指導員も午前の部に参加させて頂きました。

式典プログラムの後半、ジュニアオーケストラの素晴らしい演奏と、こども園の幼児たちによる一生懸命でかわいらしいマーチング演奏では、新成人をお祝いする子どもたちを見る新成人のそのまなざしは温かくて優しく、同じ岸和田の新成人たちと子どもたちとの間に心のつながりがあるように感じました。私たち青少年指導員も、初々しくも誇らしげで頼もしい新成人の門出をお祝いさせて頂きました。

今後とも青少年指導員の活動により一層のご理解ご協力を頂きますようお願い申し上げます。